

完了後の評価

都道府県名	北海道	所管	本土	所在地	北海道石狩市浜益区浜益	
漁港名	浜益漁港					
事業名	漁港修築事業		事業実施主体	北海道開発局	管理者	北海道
事業実施期間	平成6年度～平成13年度		総事業費	4,507	百万円	
内 容	1. 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化 当該事業では、事業採択時に費用対効果分析を行っていない。					
	2. 事業効果の発現状況 (1)北防波堤整備前は、港内の静穏度が悪く安全な係留ができない状況があるなど、漁船利用に支障をきたしていたが、整備後は、港内への越波が解消され、安全な係留が可能となり、荒天時における見回りや警戒係留作業コストが削減された。また、-3.0m岸壁の整備前は、ホタテ養殖漁業と他の漁業の輻輳により漁船の待ち時間等が生じていたが、整備後はホタテ養殖専用にご利用することができ、漁業活動の効率化が図られ作業時間が削減された。 (2)経済効果については、当該事業では事前評価を実施しておらず効果評価は行われていないが、現時点における費用対効果分析の結果はB/C=1.11であり、経済効果が発現していると評価できる。					
	3. 事業により整備された施設の管理状況 本事業により整備された施設は、漁港管理者である北海道により、適切に管理されている。					
	4. 事業実施による環境の変化 本事業における防波堤や岸壁の整備による自然環境の大きな変化はない。					
	5. 社会経済情勢の変化 当該漁港における利用漁船隻数は、主要であるホタテ養殖事業が安定的に営まれており、事業完了後、地元漁船数は概ね横ばいで推移している。					

内 容	6. 今後の課題 特になし。			
経済効果 指 標	社会的割引率	4.0%	投資期間	平成6年度～平成13年度
	現在価格の基準年度	平成18年度	施設の耐用年数	50年
	貨幣化による分析効果			
	貨幣化した 効果項目	・水産物生産コストの削減効果 ・漁獲物付加価値化の効果 ・漁業就業者の労働環境改善効果		
	総便益額 B	6,457 百万円 (割引率を4.0%として現在価値化)		
	総費用額 C	5,827 百万円 (割引率を4.0%として現在価値化)		
	費用便益比率	(B/C) = 1.11		
	参 考	純現在価格: (B-C) = 630 百万円		
		内部収益率: (IRR) = 4.02 %		
	事業の定量的・定性的効果(貨幣化が困難な効果) 本事業のホタテ養殖岸壁整備により、短時間での陸揚げ選別が可能となり、鮮度が向上したことによって新たな販路が開拓されるなど、本事業によってホタテ漁業の安定化が図られ地域経済の振興に寄与している。			
総合評価	当該事業による外郭施設や岸壁の整備によって、水産物生産コストの削減など漁業活動の効率化及びホタテ養殖事業の安定化に寄与する等の事業効果の発現が見られる。 また、本事業による経済効果は、費用対効果分析の結果が1を上回っており、経済効果の発現が見られる等、本事業は当該地区における漁業経営の安定および地域経済の振興に寄与したものと考えられる。			